

製品名: NDUB5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14490**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	NDUFB5
別名	
遺伝子 ID	4711.0
SwissProt ID	O43674
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 100-180

背景

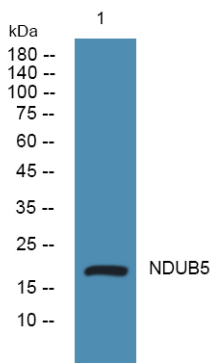
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、多サブユニット NADH: ユビキノン酸化還元酵素（複合体 I）のサブユニットです。哺乳類の複合体 I は 45 の異なるサブユニットから構成され、ミトコンドリア内膜に局在します。このタンパク質は NADH 脱水素酵素

活性と酸化還元酵素活性を有し、NADHから呼吸鎖へ電子を伝達します。この酵素の直接的な電子受容体はユビキノンと考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq提供、2011年1月]、機能: ミトコンドリア膜呼吸鎖NADH脱水素酵素(複合体I)の補助サブユニットであり、触媒作用には関与しないとされています。複合体Iは、NADHから呼吸鎖への電子伝達に機能します。この酵素の直接の電子受容体はユビキノンであると考えられています。類似性:複合体I NDUF5サブユニットファミリーに属します。サブユニット:複合体Iは45の異なるサブユニットで構成されています。、

研究分野

酸化的リン酸化、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病、

画像データ



DU145細胞溶解液のウェスタンブロット分析、NDUB5ウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°で一晩